

稲作農家 各位

# 山武稲作情報 第3報(2016年6月17日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

## 山武地域の生育状況

4月下旬までに移植した「ふさおとめ」「ふさこがね」は、幼穂形成期を迎えています。水稻の生育は、平年並みに進んでいますが、圃場によって生育にばらつきがみられます。圃場ごとに生育に応じた管理を行ってください。

参考 生育調査ほの調査結果 (調査日 6月15日)

### 【主食用米】

品種	場所	年	移植日	葉令	草丈 (cm)	莖数 (本/株)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 SPAD	葉色 カラー スケール	幼穂 形成期
ふさ おとめ	山武市 (白幡)	28	4/30	11.2	45.0	25.8	572.8	43.0	5.3	(6/20)
		27	4/27	10.1	50.7	32.0	563.2	38.5	4.8	6/14
		平年値	4/28	10.1	48.4	29.6	495.7	40.9	5.1	6/19
ふさ こがね	山武市 (成東)	28	4/26	10.1	45.0	29.4	543.9	38.3	4.7	(6/18)
		27	5/1	10.3	50.0	33.1	612.4	39.5	4.9	6/18
		平年値	5/1	9.6	51.8	30.7	542.2	42.0	5.2	6/24
コシ ヒカリ	東金市 (北之 幸谷)	28	4/22	9.9	56.0	39.0	698.1	39.5	4.9	(6/23)
		27	4/25	10.3	62.7	28.6	546.3	39.2	4.9	6/17
		平年値	4/23	9.6	52.8	30.7	542.2	42.0	5.2	6/23
コシ ヒカリ	山武市 (成東)	28	4/26	9.4	44.0	27.7	512.5	39.5	4.9	(6/27)
		27	5/1	9.8	49.7	30.9	571.7	38.7	4.8	6/24
		平年値	5/1	9.1	42.8	29.9	553.2	40.9	5.1	6/29
ふさの もち	山武市 (成東)	28	5/10	8.8	40.0	28.6	529.1	39.5	4.9	—
		27	5/11	9.0	40.6	30.9	571.7	38.3	4.7	7/1
		平年値	5/9	8.7	38.4	28.5	527.3	41.3	5.1	7/3

平年値は過去10年間(東金市コシヒカリは9年間、ふさのもちは6年間)の平均値。

H28年度の幼穂形成期( )は推定日。

### 【飼料用米】

飼料用米の受付は6月30日までです。ご検討ください。

品種	場所	年	移植日	草丈 (cm)	莖数 (本/株)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 SPAD	葉色 カラー スケール	幼穂 形成期
アキヒカリ	山武市	28	4/26	50.9	37.3	579.8	39.7	4.9	6/14
初星	東金市	28	4/26	35.3	20.2	414.1	42.4	5.2	—
夢あおば	山武市	28	5/10	48.4	24.6	406.6	44.9	5.6	—

## 郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXへ切り替えを進めています。電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 水鳥 k.mztr@pref.chiba.lg.jp、 0475-54-0226 (電話)

## 今後の管理

### 1. 水管理

4月移植の「ふさおとめ」や飼料用米「アキヒカリ」は幼穂形成期を迎えています。中干しを終了してください。幼穂形成期から出穂期にかけては、低温および高温の影響の受けやすい時期となります。特に平均気温が20℃以下の低温が続くような場合は可能なかぎり深水で管理してください。

飼料用米の「アキヒカリ」や「初星」、「夢あおば」などは耐冷性が弱い品種であるため、低温時は特に注意が必要です。

### 2. 穂肥

穂肥の適期は幼穂形成期の1週間後（幼穂長5mm～1cm）です。一発肥料を使用していない方は、「ふさおとめ」「ふさこがね」は幼穂を確認し、適期に穂肥を行いましょう。

飼料用米（多収品種）は葉色を濃く推移させることが多収のポイントになります。葉色が薄い場合は早めに追肥を行い、葉色を落とさない管理を心掛けてください。

### 3. 病虫害防除

梅雨期に平均気温20～25℃で曇雨天が続く場合、葉いもちの発生が懸念されますので注意してください。カメムシ対策のための畦畔除草は出穂2週間前までに行いましょう。

## 地域の情報 稲発酵粗飼料（WCS）栽培について

### ◎稲発酵粗飼料（WCS）とは？

稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ、以下WCS）は、稲の穂と茎葉を丸ごと収穫してラップで巻いて発酵させ、牛の飼料として利用します。生産調整の一環として、山武地域では、約70haで取組まれています。

### ◎収穫方法

WCSの収穫は乳熟期（出穂後10日後頃）～成熟期に専用の収穫機とラップマシーンを使って行います。



WCS用収穫機



←収穫した  
WCSのロール

### ◎栽培上の注意点

WCSに使用する農薬は、稲用に登録されている農薬のうち、WCS用として認められているものを使用します。主食用米栽培の近くにWCS栽培がある場合は、農薬の飛散等に注意をお願いします。



ラップマシーン

次回の情報は6月28日（火）に発行する予定です。

この情報は、山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>